

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/06/20 000000314892 初回作成日: 2024/06/20

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : KNT-1043  
製品コード : 000000000055856380 000000000055856380

### 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : シーカ・ジャパン株式会社  
住所 : 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2722  
電話番号 : +81467849640  
FAX番号 : +81467849648

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品の GHS 分類

眼に対する重篤な損傷 : 区分 1

### GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H318 重篤な眼の損傷。

注意書き :

#### 安全対策:

P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

#### 応急措置:

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P310 直ちに医師に連絡すること。

### GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非 : この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS 分類の常事態の概要 結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与す

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/06/20 000000314892 初回作成日: 2024/06/20

る可能性がある GHS 分類以外の危険性に関するものである。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

#### 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
マレイン酸・オレフィン共重合体 ナトリウム塩	非開示	>= 20 - < 30	

### 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。  
汚れた衣服は取り替える。
- 吸入した場合 : 蒸気/エアゾールを吸入して具合が悪くなった場合、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合、直ちに水と石鹸で十分に洗い流す。  
いかなる場合にも有機溶剤を使用してはいけない。  
刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちにまぶたを開き流水で 15 分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぎ、200-300ml の水を飲み、医者の診察を受ける。  
中毒情報センターまたは医師の指示がない限り、吐かせないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2 章で利用可能な GHS ラベルのフレーズ及び 11 章で利用可能な毒性評価に含まれる。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡  
水噴霧  
粉末  
二酸化炭素 (CO2)

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/06/20 000000314892 初回作成日: 2024/06/20

---

- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水
- 有害燃焼副産物 : 有害な蒸気  
窒素酸化物  
ヒューム/煙  
カーボンブラック
- 特有の消火方法 : 燃焼物および火災条件により危険度が変わる。  
汚染された消火用水は、法令に従い処分すること。
- 消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器を着用のこと。
- 

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を着用する。  
蒸気/エアロゾル/スプレーミストを吸い込んではいけない。  
適切な安全衛生管理方法に従って取り扱うこと。
- 環境に対する注意事項 : 容器に汚染水/消火用水を取り集める。  
排水溝等に流出させない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。  
法令に従って吸着剤を廃棄すること。
- 

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 本製品は燃焼拡大の原因にはならず、自己燃焼性もないし、爆発性もない。  
静電気放電に対して予防処置手段をとること。
- 安全取扱注意事項 : エアゾールを発生させない。  
ミスト/蒸気の吸入を避けること。  
直接肌に触れることは避けてください。  
適切に使用する場合、特別な対策は必要ない。
- 接触回避 : 強酸  
強塩基類  
強酸化剤
-

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/06/20 000000314892 初回作成日: 2024/06/20

衛生対策 : 作業中は、飲食や喫煙をしない。  
作業後及び休憩前に手洗い、洗顔をする。  
作業後に皮膚を洗浄し、皮膚保護剤を塗布すること。  
手袋は使用前に定期的に点検すること。小穴がある場合など、必要に応じて手袋を交換すること。

#### 保管

保管状態に関する追加情報 : 元の容器だけに収容して、冷たく通気の良い場所で保管します。  
直射日光を避ける。  
凍結しないように保護して保管すること。

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

#### 保護具

呼吸用保護具 : 呼吸保護具（換気の悪い場合）  
有機、無機、無機酸及びアルカリ性化合物のガス/蒸気用複合フィルター（例：EN14387 タイプ ABEK）

#### 手の保護具

備考 : 長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN 374）（保護指針 6 に準ずることが望ましい。EN 374 によると、透過時間は 480 分以上であること）：ニトリルゴム（0.4 mm）、クロロプレンゴム（0.5 mm）、ブチルゴム（0.7 mm）など。種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

眼の保護具 : サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

皮膚及び身体の保護具 : 作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。  
前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605 に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982 に従う。）。

保護対策 : 皮膚、眼、衣服への接触を避ける。  
取扱い中のコンタミを防止するために、一体型作業衣と手袋を使用する。  
適切な安全衛生管理方法に従って取り扱うこと。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/06/20	000000314892	初回作成日: 2024/06/20

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 黄色～褐色
臭い	: 微かな特有臭
可燃性 (液体)	: 引火性ではない。
引火点	: 非該当
分解温度	: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。
pH	: 約 9 - 11 (20 ° C) 含有量: 2 % 溶液
蒸発速度	: データなし。
かさ密度	: 非該当
自然発火温度	: データなし
粘度	
粘度 (粘性率)	: 190 mPa. s (10 ° C) 127 mPa. s (20 ° C)
溶解度	
水溶性	: 可溶
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: データなし。
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	
密度	: 約 1.108 gPcm3 (10 ° C) 1.103 g/ml (30 ° C)
爆発特性	: 爆発性なし

版番号 1.0 改訂日: 2024/06/20 整理番号: 000000314892 前回改訂日: - 初回作成日: 2024/06/20

---

酸化特性 : 構造的長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。  
自己発熱性化学品 : 自己発熱性物質ではない。  
粒子特性  
粒子サイズ : データなし

---

### 10. 安定性及び反応性

反応性 : 指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。  
化学的安定性 : 製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。  
危険有害反応可能性 : 製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。  
避けるべき条件 : 製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。  
混触危険物質 : 強酸  
強塩基類  
強酸化剤  
危険有害な分解生成物 : 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

---

### 11. 有害性情報

**急性毒性**  
利用可能な情報に基づく限り分類できない。  
**皮膚腐食性／刺激性**  
利用可能な情報に基づく限り分類できない。  
**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**  
重篤な眼の損傷。  
**呼吸器感作性又は皮膚感作性**  
**皮膚感作性**  
利用可能な情報に基づく限り分類できない。  
**呼吸器感作性**  
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

版番号 1.0 改訂日: 2024/06/20 整理番号: 000000314892 前回改訂日: - 初回作成日: 2024/06/20

---

**生殖細胞変異原性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**発がん性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**生殖毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**誤えん有害性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**詳細情報**

**製品:**

備考 : 通常の使用条件下では健康を損ねることが知られておらず、予想もされない。  
本品は未試験である。毒性に関する記述は、各成分の特性に基づくものである。

---

**12. 環境影響情報**

**生態毒性**

**製品:**

**環境毒性アセスメント**

水生環境有害性 短期（急性） : 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

水生環境有害性 長期（慢性） : 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**残留性・分解性**

データなし

**生体蓄積性**

データなし

**土壌中の移動性**

データなし

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/06/20	000000314892	初回作成日: 2024/06/20

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響****製品:**

生態系に関する追加情報 : 前処理なしに河川等に流してはならない。  
本品は未試験である。環境毒性に関する記述は、各成分の特性に基づくものである。

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 国のまたは地方の法定事項に従うこと。  
残渣は、この物質/製品と同様の方法で廃棄しなければならない。

汚染容器及び包装 : 汚染された包装から内容物を可能なかぎり取り除き、包装を完全に浄化した上でリサイクルに回すこと。

**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

国連番号 : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当  
環境有害性 : 非該当

**航空輸送 (IATA-DGR)**

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当  
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2024/06/20	000000314892	初回作成日: 2024/06/20

---

梱包指示 (旅客機) (Pack- : 非該当  
ing instruction (passenger  
aircraft))

**海上輸送 (IMDG-Code)**

国連番号 : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping : 非該当  
name)  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 : 非該当  
容器等級 : 非該当  
ラベル : 非該当  
EmS コード : 非該当  
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
供給された状態の製品には非該当。

---

**15. 適用法令**

**関連法規**

**消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

**労働安全衛生法**

**製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)**

非該当

**変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

非該当

**皮膚等障害化学物質 不浸透性の保護具等の使用義務物質 (労働安全衛生規則第 594 条の 2)**

非該当

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/06/20	000000314892	初回作成日: 2024/06/20

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

## 16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

### その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2024/06/20	000000314892	初回作成日: 2024/06/20

---

- 国際連合危険物輸送勧告: vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA